

# 第1回 岩内町東地区学校運営協議会・議事録

令和元年7月23日(火) 19:00～

岩内第一中学校 会議室

記録者：岩内東小学校・鎌田

□司会：野崎委員（第一中学校教頭）

## 1. 開会

(司会：野崎委員)

皆さんお疲れ様です。岩崎委員がお仕事の都合で遅れるという連絡を受けております。第1回岩内町東地区学校運営協議会を始めさせていただきます。本日司会を務めさせていただきます、第一中学校教頭の野崎と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の会議は、お手元の資料の次第に従いまして進めさせていただきます。

## 2. 設置者挨拶

(司会：野崎委員)

それでは、設置者挨拶です。岩内町教育委員会教育長、吉田 勲様、よろしくお願いいたします。

(吉田教育長)

皆さんこんばんは。令和元年度岩内町立小中学校・学校運営協議会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。本日は、公私ともにお忙しい中、ご出席を賜りましてありがとうございます。委員の皆様には、それぞれのお立場で学校教育や社会教育など、ご尽力いただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

本年7月、各小中学校に学校運営協議会を設置し、本日皆様のご協力のもと、第一回の学校運営協議会を開催する運びとなりました。

学校運営協議会とは、保護者や地域住民の代表、学校代表などがメンバーとなり、教育について、家庭・地域の願い・要望を汲み取りながら、学校が作成した学校運営などの基本方針について検討し承認する組織であり、これにより学校・家庭・地域が一体となり、よりよい教育環境の実現を目指すことをねらいとした制度であります。委員の皆様には本協議会の目的を念頭においていただきながら、岩内町の教育方針の基本となる、子どもたちの学力の定着や豊かな心、健やかな体の育成を推進し、教員が子供と向き合う時間を確保する取組を実現するためにお力添えを頂きますよう、お願い申し上げます、簡単ではありますが、開催の挨拶といたします。本日はよろしくお願いいたします。

## 3. 委員の任命

(司会：野崎委員)

ありがとうございました。続きまして、運営協議会委員の任命を行います。吉田教育長様、引き続きよろしくお願いいたします。

～以降、教育長による委嘱状の読み上げと伝達～（読み上げ順は次の通り）

1. 佐古岡委員
2. 山王丸委員
3. 岩崎委員（欠席のため読み上げなし）
4. 鎌田委員

5. 阿部委員 6. 川上委員 7. 石塚委員 8. 高島委員 9. 佐藤委員 10. 工藤委員 11. 青柳委員 12. 進藤委員 13. 野崎委員 14. 加藤委員 15. 齊藤委員

(司会：野崎委員)

机上に配布させていただきました封筒につきましては、委嘱状を持ち帰るのにご利用いただければと思います。吉田教育長様、所用によりこれにて退席となります。ご理解よろしく願いいたします。

～吉田教育長 退席～

#### 4. 委員の紹介

(司会：野崎委員)

続きまして、次第の4番、「運営協議会委員の紹介」となります。岩内東小学校・佐古岡教頭、お願いいたします。

(佐古岡委員)

岩内東小学校教頭の佐古岡 香といいます。委員の皆様との連絡等の窓口として携わせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、岩内町学校運営協議会委員名簿の順番に、お名前をご紹介させていただきます。ひとことご挨拶いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

まずは東小学校から参ります。続いて第一中学校という順で考えております。よろしくお願いいたします。初めに、阿部委員です。～以降、佐古岡委員からの呼名に従い、順次自己紹介～

(阿部委員)

阿部です。私もわからないところがあり、これから皆さんに教えていただくこともあるかと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

(山王丸委員)

東小学校 PTA 会長を務めさせていただいております、山王丸です。一年間よろしくお願いいたします。

(佐古岡委員)

岩崎委員につきましては、お仕事の都合でまだ来られておりませんので、後ほどということでお願いいたします。

(川上委員)

三年前に退職いたしまして、教育委員・社会教育委員の方を担当しておりましたので、いづらかでもお役に立てればと思います。なお私事ですが、8月4日、6時19分より、ラジオ体操50周年記念ということで行いますので、私会長を務めておりますが、ぜひラジオ体操へのご参加をよろしくお願いいたします。

(齊藤委員)

岩内東小学校、校長の齊藤です。この春から東小学校でお世話になっております。教職もいよいよ終わりが見えてきたこの時期に、生まれ故郷に戻ることができた喜びを感じながら務めさせていただいております。これからたくさんお世話になりますが、よろしくお願いいたします。

(鎌田委員)

岩内東小6年目になります、鎌田と申します。岩内に来ましたのは7年前で、閉校した岩内中央小

学校の最後の1年間も携わっておりました。岩内は長くなりますが、これからの時代の流れ・変化していくもの等あるようですので、皆さんのお力を借りながら、わたしもできる限り、できることをしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

**(佐古岡委員)**

続いて第一中学校の方へ参ります。佐藤委員です。

**(佐藤委員)**

岩内高等学校の佐藤と申します。書道の教諭をやっています。よろしくお願いいたします。

**(進藤委員)**

岩内第一中学校 PTA 会長の進藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

**(青柳委員)**

同じく岩内第一中学校の PTA 副会長の青柳と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

**(高島委員)**

岩内で旅館を経営しております、高島と申します。岩内にきて5年になりまして、子どももまだ4歳です。これから皆さんにいろいろと教えていただくことがたくさんあるかと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

**(加藤委員)**

岩内第一中学校の校長の加藤と申します。校長としては今年で2年目となりますが、実は岩内にはご縁があって、4年前まで教頭としてこの岩内第一中学校にお世話になっておりました。実質、岩内では5年目になります。こういう形でご縁をいただきましたので、子どもたちのために、何とかいい形になればと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

**(野崎委員)**

改めまして、岩内第一中学校教頭の野崎と申します。私も、子どもたちのために全力を尽くしていきたいと思っておりますので、皆様のご協力、どうぞよろしくお願いいたします。

**(工藤委員)**

今年の4月から、新採用として岩内第一中学校の事務職員としてお世話になっております。精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。

**(石塚委員)**

岩内町で水産業を営んでおります、石塚と申します。本業の水産業以外にも、観光・地域づくりなどに関わっております。そういった意味でも、子どもたちがいつか岩内町に帰りたと思う、または帰らないにしても、地域に誇りを持って都会で頑張ってもらう。そうした「教育と地域づくり」という視点で考え、少しでもお力になればと思います。よろしくお願いいたします。

**(野崎委員)**

本日、後ろの方の座席に、運営協議会を立ち上げるにあたり、推進委員としてご尽力いただきました方をご紹介します。岩内町教育委員会・井筒教育委員です。続きまして、岩内町教育委員会、西澤課長・竹内係長です。紹介いたしました3名の方々には、オブザーバーとして同席していただいておりますので、ご承知おきください。以降、着座で失礼いたします。

## 5. 正副委員長の選出

### (司会：野崎委員)

続きまして、5番、正副委員長の選出となりますが、皆様方からご意見や立候補などありましたら承りたいと思いますが、いかがでしょうか。もし、ご意見等なければ、こちらで事前をお願いしております。まず、委員長に岩内第一中学校区の佐藤委員、副委員長に岩内東小学校区の阿部委員のお二方にお願いしたいと思いますが、承認される方は拍手をお願いします。(拍手多数にて承認)

## 6. CS 概要説明

### (司会：野崎委員)

それでは6番、コミュニティースクールの概要説明。岩内東小学校・佐古岡教頭お願いいたします。

### (佐古岡委員)

資料の「委員名簿」のページをさらにめくっていただき、カラーのページをご覧ください。

コミュニティースクールとは、保護者や地域住民が学校運営に参画する「学校運営協議会制度」を導入した学校のことを言います。地域と学校が子育ての目標を共有して、「地域総がかりで協力して子どもを育てましょう」という考え方・仕組みとなっております。

保護者や地域の方々からなる「地域学校行動本部」の皆さんと、本日お集りの委員さんからなる「学校運営協議会」とが両輪となり、目標を共有しながら、幅広い地域の方々の参画によって、東小学校・第一中学校の支援や地域における活動を活性化させることを目指します。

協議会の主な役割としては三点。①校長の作成する学校運営の基本方針を承認すること ②教育委員会や校長に意見を述べること(ができる) ③教職員の任用に関しても、教育委員会に意見を述べること(ができる) というものです。まだまだ始まったばかりで、分からないことなどありますが、互いに聞き合い、熟議を重ねながら進めていきたいと思っております。簡単ですが、このような仕組みの元、進めていきます。よろしく申し上げます。

### (司会：野崎委員)

今の説明や資料について、不明な点や確認しておきたい内容、またはご意見などありましたらいただきたいと思いますがいかがですか？もし何かございましたら、この後、意見交流という場を設定しておりますので、そちらの方でも、忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。

## 7. 各校経営方針提示

### (司会：野崎委員)

続きまして、次第を進めさせていただきます。各学校の経営方針を提示させていただきます。まず初めに岩内東小学校、齊藤校長先生お願いいたします。

### (東小校長：齊藤委員)

よろしく申し上げます。座って失礼いたします。一枚めくっていただき、東小学校・学校経営グランドデザインというものをご覧ください。

本校では「明るく伸びる子」との学校教育目標のもと、「考える子」「助け合う子」「やりぬく子」「じょうぶな子」の4点を知・徳・体の具体目標とし、その具現化を目指しています。

学校課題として捉えている事柄としては、学力の底上げを図ることが第一です。数値で図れる結果のみで子どもたちを捉えようとしているのでは、決してありませんが、少なくともこれだけは身に付けておかなければ中学校、高校、そしてその先の社会人として自立していくことができないという「生きる力」となる学力を保障することは、学校の大きな使命だと考えます。

わかること、できることを少しずつ増やし、自分への自信を大きくしていくことで自己肯定感を高めたいと考えます。そして、それらは、前向きに生活していこうとする意欲と自分を律して正しく生きようとする規範意識を高めることにもつながっていくと考えています。

しかしながら、本校児童の実態として、特別支援学級には在籍しないものの個別教育的支援を必要とする子が多く、一人一人の教育的ニーズを把握し、それらに的確に対応することなしには、学級経営や授業は成り立ちません。

そこで、経営の根底を流れる方針として「特別支援教育の理念を基盤とする」ということを宣言しています。

教室環境のみならず、授業における指導過程や学習活動そのものについてもユニバーサル・デザインを意識して、日々、取り組んでいるところです。

支援を要する子がクラスに複数名いるという実情から、学習支援員を4名も配置していただき、手厚い支援を可能にする体制を組んでいること、気付きのシートをもとに支援を要する子と思われる子の状況をつぶさに見取っていくことなど、学校全体でチームを組んで支援にあたることはもちろんですが、と同時に、一人一人の教師が特別支援教育の引き出しをしっかりと持つということが必要不可欠となります。それを実現するには、私たち教師自身もまた、学び続けるということに他はありません。子どもたちをしっかりと支え、伸ばすためには、研修への真摯な取組は避けては通れません。

長く話さない、ゆっくり静かに話す、飽きさせないように学習活動をユニット化することなど、授業づくりのポイントと支援の具体化を共通理解したうえで、個々の教師が自身の授業力を磨くべく、取り組んでいるところです。

また、子どもたち、特に特別な支援を要する子にとっては、社会的なスキルを身に付けていくことが必要となりますが、そのうえで、教師は良きモデルとなるという重要な役割を担っています。

うそをつかない、友だちを大切にする、など、口で言うだけではなく、教師が実際にそのような姿を日々見せていく、さらには、先生同士の信頼関係や仲のよさを見せるなど、望ましい立ち振る舞いのモデルとなることを意識化していかななくてはなりません。

このようにグランドデザインとして示し、共通理解を図ったうえで、研修や特別支援の担当を中心に具体的な学校の動きを作り出していますが、まだまだすべてに合格点が付くわけではなく、道半ばといったところです。

「ほめる・励ます・勇気づける」を基調に据え、学校で安心して自分らしさを表出させながら、生き生きと学ぶことができる、そんな学びの笑顔を広げる学校、居場所のある学校を目指して、私たち教職員も学び続け、心の広さや良識等、人間力を磨いていきたいと思えます。そうすることで、おのずと活力ある信頼される学校づくりが実現されていくものと思っています。

ただ、これらは、学校だけが頑張っただけでは、なかなか到達できるものではありません。

肝になるのは、どれだけ家庭と、子どもを伸ばす、子どもの将来を真剣に考える、という思いを同じにして、協力、連携し合いながら進めていけるか、地域の応援をどれだけいただきながら、地域の将来の担

い手である子どもたちを伸ばしていくことができるかというところです。

子どもは、「学校で学び、家庭で育ち、地域で伸びる」と言われます。本校で目指す教育活動が、その意図するところを達成していくためには、家庭や地域との共通理解、連携、協力等々が不可欠です。

自信をもって次なる一步を踏み出すために、家庭、地域とのつながりは、大きな大きな力となります。

東地区の子どもたちのために、東小と一中が真の小中連携を果たし、子どもたちの将来を見据え、思いを馳せた確かな教育を展開していくことができるよう、今後とも、皆さんのお力添えを賜りますようお願いをいたしまして、本年度の東小学校の経営方針の説明を終わります。以上でございます。

#### **(司会：野崎委員)**

ありがとうございました。今、岩内東小学校の学校経営について説明していただきましたが、先ほど佐古岡教頭から説明がありましたように、この学校運営協議会というものは、学校長が示す学校経営(方針)を承認するということからスタートするのが大前提となっておりますので、齊藤校長先生の説明について、この場で確認をさせていただきたいと思います。ご意見やご質問等があれば、承りたいと思いますがいかがですか？こちらの方も、もし何かございましたら、この後の意見交流の場でご意見いただきたいと思います。

続きまして、岩内第一中学校加藤校長先生お願いいたします。

#### **(一中校長：加藤委員)**

私の方も座って説明させていただきます。次のページをご覧ください。私がこのグランドデザインを立ち上げたときには、やはりシンプルに、学校ではどういう形で、今年1年間活動をするのかをできるだけコンパクトにまとめたものにしたいということで、このような形になっています。校訓が3点。学校教育目標は、大きな柱に加えて、自ら考え・学び・鍛えの三つの視点から成り立っています。学校が目指す姿が4点。これは、①当然主体となる子どもたち ②そしてそれを支えていただいている保護者 ③そして影となって見守っていただいている地域 ④それぞれとしっかり関わり合う我々教職員 この4点を挙げています。特に4点目が本校の特徴です。先生方がしっかりと自分を見つめていかなければ、いくら地域・保護者の支えがあっても、学校現場が崩れていく。職員自らが自分のことを大切にできる学校を目指していきたいと考えています。

以上のことを実現していくための重点目標は、「未来を創造し、社会で生きる力を身に付けた生徒の育成」です。特に私が一番に掲げているのは「未来を創造し」という部分であります。先ほど東小学校の説明で、「特別支援の視点に立つことも含めて、きめ細やかに基礎を作っていく」というお話がありました。ならば、中学校では、自分の将来を見つめて、3年間の中学校生活で夢や希望をしっかりと描き、社会でしっかりと生き抜いていく力を身に付けさせることが重要なのではないかと考えて設定した、重点目標であります。この「未来を創造し」という部分については、学校はもちろん、地域の皆様のお力をお借りしていくことにより子どもたちを導いていくものですので、大きく考えて受け止めていただければと思います。

重点目標の具体的なものが、次の3点になります。

- ① 自ら学ぶ姿勢～自学自習の基礎～です。本校では授業をベースに、子どもたちの学力を高められるよう導いておりますが、まだまだ生徒たちが受け身の状態です。また、本校は家庭学習の時間が少ないという現状がありますので、こういった部分について、重点的に取り組んでいます。私が教頭時代から改善に取り組んできたこととして、近年問題となっている「子どもたちが持ち帰る鞆の重

量」の課題があります。中学校だけではなく小学校でも問題になっているところですが、本校では、「自学自習」の観点と絡めて、生徒自身が必要なもの・必要でないものを選択して持ち帰り、負担が軽減した分を家庭学習の充実につなげるという取組を行っています。

- ② 自信が持てる心～自己肯定感の高揚～です。本校生徒は非常に純粋でピュアな心を持っています。しかし、自分の本当の良さや力を自覚し、自身を持っている子が少ないです。そこで何とかこの「自己肯定感」を高めながら、子どもたちの自信につなげていきたいと考えています。昨年度、道徳の観点・心を育てるという観点のもと、3回に渡り、地域の方に講師として授業に関わっていただきました。今年度は体験学習も含めた取組に、お力添えを頂く予定であります。
- ③ 進んで活動できる意識～主体性の機会～です。これは2番目にも関わることでありますが、学校行事や特別活動のなかで自ら動き、実践力や判断力を磨いていく経験を通して、体を鍛えることにもつながってほしいというものです。日々、先生方はこの「主体性」という言葉をキーワードに、教育活動にあたっているところです。

最後、下になりますが、「教職員の健康保持」です。先ほども申し上げましたが、まずは教職員の体・心の健康があつての教育活動です。そのために、小中・そして中学校間の連携や、組織的な取組、行事の精選や業務の軽減などを通して、働き方改革に向けた組織改革に取り組んでいます。当然ながら、このコミュニティースクールの機能も活用しながら、先生方の業務とつなげていければと思っています。以上、簡単ですが説明を終わります。

## 8. 今年度の計画

(司会：野崎委員)

ただいま説明がありました、岩内第一中学校の学校経営につきまして、ご意見などありましたらいただきたいと思いますがいかがですか？

それでは次第の方を進めさせていただきます。続きまして、8番、今年度の計画につきまして、岩内東小学校、佐古岡教頭先生、よろしく願いいたします。

(佐古岡委員)

※資料「コミュニティースクール年間計画表」についての説明

## 9. 意見交流

(司会：野崎委員)

今の説明につきまして、ご質問等ありましたらいただきたいと思いますがいかがでしょうか？それでは次第の9番「意見交流」に入ります。どのような視点からでも構いません。また、コミュニティースクールの在り方などにつきましても、ご意見を頂ければ、今後の運営に生かしていきたいと思いますが、いかがでしょうか？

～以下出された意見を集約したもの～

(高島委員)

- ・当年度のグランドデザインを説明していただいたが、中長期的なマスタープランも必要。
- ・学校運営については、例えば、私は観光業を営んでいるので、観光分野の授業しなど、一つ特化したものにしてもいいのでは。

- ・子どもたちには、岩内で成長し、岩内らしさ＝武器を持って社会へでてほしい。

#### (石塚委員)

- ・本日協議会が立ち上がったばかりで、また私自身もこの機会に初めて教育分野に携わる。
- ・学校をよりよく知るため、行事や授業参観など学校の中を見る機会があれば、お知らせ願う。  
→野崎教頭：公開授業等、既に実施しているものがあるので、是非足を運んでいただきたい。

#### (川上委員)

- ・規則・要綱など見せてほしい。  
→野崎教頭・加藤校長：議事録と合わせて、提供いたします。

#### (進藤委員)

- ・高島委員と同様だが、マスタープランを示してほしい。

#### (山王丸委員)

- ・登下校における安全対策が必要。本協議会設立を機会に地域と交流しながら取り組んでいきたい。  
→野崎教頭：(CS 先進地の事例を紹介し) 是非活用し取り組んでいきたい。

#### (青柳委員)

- ・小学校は中学校のように部活動がないため、今回の協議会設立をきっかけに、小中通して、運動する機会を確保していきたい。

#### (阿部副委員長)

- ・通学路について心配している。特に歩道橋を渡らずに道路を渡る児童をよく見かける。  
地域の力を合わせて、安全対策に取り組みたい。  
→野崎教頭：委員各位のネットワークを用いて、見守ることが CS の取り組みとなります。

#### (佐藤委員長)

- ・皆さんからたくさんのいい意見が出て良かったと思う。  
～最後に、各校長から～

#### (齊藤委員)

- ・今、皆さんから出た 学びの部分・マスタープラン・登下校安全対策など、これから地域をあげた取組が出来ることを楽しみにしています。

#### (加藤委員)

- ・多くの先進的な意見をいただくことが出来ました。
- ・今後は、義務教育学校も見据え、各地区で集積したノウハウを地区間で共有していきたい。
- ・皆さんとこういった取組みが出来るのは大きな力。

## 11. 閉会

#### (司会：野崎委員)

色々なご意見をいただきましたが、今後より具体的なものとして、コミュニティースクールの第一歩を踏み出し始めていきたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

以上をもちまして、第1回岩内町東地区学校運営協議会を閉じさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。